



報道発表資料

2007年7月17日  
インフォテリア株式会社

インフォテリア、ASTERIA WARP、ASTERIA WARP Lite の最新バージョンを出荷開始  
～ 「パイプライン機能」を体験できるショーケースサイトも同時公開 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853）は、国内 EAI ソフトウェア出荷シェア No.1<sup>(注1)</sup>である ASTERIA シリーズの「ASTERIA WARP」と「ASTERIA WARP Lite」の最新バージョン「4.1」を本日から出荷することを発表します。

また最新バージョンの出荷に併せて ASTERIA WARP、ASTERIA WARP Lite のパイプライン機能を体験できるサイト、ショーケースを本日より公開します。

(Web サイト：<http://showcase.asteria.jp/>)。

ASTERIA の最新バージョンで強化される主な点は、以下の通りです。

- ・ 操作性の向上
  - ✓ パイプライン機能（ブラウザのみで操作できるデータ連携設定）のユーザーインターフェースを大幅に強化
- ・ 接続性の強化
  - ✓ パイプライン機能に SOAP 対応アダプタを追加
  - ✓ 「フロー」用のサービス開発キット(SDK)の API を強化しカスタムアダプタの適用範囲を拡大
  - ✓ データベース情報漏洩対策ツール「Chakra」用の連携アダプタを追加
- ・ 運用管理の強化
  - ✓ パイプライン機能の運用管理機能を大幅に強化

ショーケースでは、パイプラインのデモンストレーションにより ASTERIA の操作性の高さを実感していただけます。

(Web サイト：<http://showcase.asteria.jp/>)。

- ・ 「パイプラインコーディネーター」を体験
  - ✓ パイプラインコーディネーターへのログイン/ログアウト

- ✓ デモ用パイプラインの参照
- ✓ デモ用パイプラインの実行
- ・ **パイプライン情報の提供**
  - ✓ サンプルパイプラインの提供
  - ✓ パイプライン作成手順画面キャプチャの提供

#### パイプライン機能について

ASTERIA WARP, ASTERIA WARP Lite からフォルダ監視やデータ収集を行う「センサー」、データ変換・抽出を行う「フィルター」、データ連結・受け渡しを行う「ジョイント」の3つのステップから構成され、ステップごとの用意された「アクション」(実行したい処理)を選択するだけで、簡易にデータ連携・システム統合を実現する機能です。

また、アクション設定から、ログや統計情報参照などの運用管理まで、すべての操作を Web ブラウザから行うことができます。

#### インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様な「つなぐ」を実現し、コミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。主力製品の「ASTERIA」は大企業、中堅企業を中心に360社以上(2007年3月末現在)の企業に導入されています。

<http://www.infoteria.com/>

Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。ASTERIAは、インフォテリア株式会社の登録商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

(注1) テクノシステムリサーチ社「2006年ソフトウェアマーケティング総覧」による。

本件に関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社

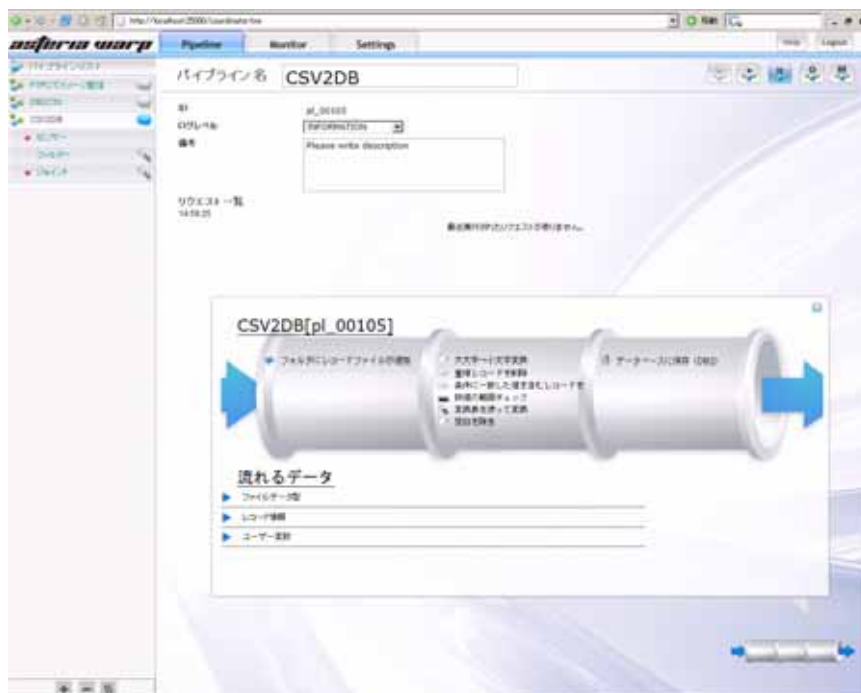
広報担当：嶋 かおる

TEL：03-5718-1297 FAX：03-5718-1261

E-mail：press@infoteria.co.jp

## 参考画面

### パイプラインのユーザインタフェース画面



パイプラインに設定された全てのアクション確認を行う機能が追加されました。これにより各ステージごとのアクションやパイプライン中を流れる処理データの設定項目を一画面にて確認することが可能になります。(一例)